

# Nareru Group

プロ人材に、なれる。成長社会に、なれる。

## 2025年10月期 第1四半期 決算説明資料

2025. 3. 13



株式会社ナレルグループ | 東証グロース | 9163 |

- 技術者の新規採用に苦戦も、稼働人数や契約単価の向上が寄与し、売上は計画超過
- 営業利益は、営業力や採用力の強化に向けて人件費が増加したものの、増収効果に加え、採用費や研修費など成長投資の後ろ倒しにより、計画を上回る

## 2025年10月期 第1四半期 連結業績概要

売上収益

5,892百万円

(前年同期比+18.2%)  
(計画比+0.7%)

営業利益

900百万円

(前年同期比+20.9%)  
(計画比+34.4%)

税引前四半期利益

883百万円

(前年同期比+20.6%)  
(計画比+33.9%)親会社の所有者に帰属する  
四半期利益

649百万円

(前年同期比+25.9%)  
(計画比+35.4%)

## 2025年10月期 第1四半期 ワールドコーポレーション主要KPI

在籍人数<sup>\*1</sup>

3,273人

(前年同期比+15.7%)  
(計画比△1.1%)稼働人数<sup>\*2</sup>

3,074人

(前年同期比+18.5%)  
(計画比△0.6%)稼働率<sup>\*3</sup>

95.4%

(前年同期比+0.3pt)  
(計画比±0pt)契約単価<sup>\*4</sup>

516千円

(前年同期比+12千円)  
(計画比△1千円)

採用人数

330人

(前年同期比△11.1%)  
(計画比△13.8%)退職率<sup>\*5</sup>

29.8%

(前年同期比±0pt)  
(計画比±0pt)

(\*1) 在籍人数:2025年1月の在籍人数 (\*2) 稼働人数:対象期間における稼働人数の月次平均値 (\*3) 稼働率:対象期間における稼働人数/対象期間における在籍人数(研修中の技術者を除く)

(\*4) 契約単価:対象期間における契約単価(残業代は除く)の月次平均値 (\*5) 2025年1月の退職率(退職率=過去12ヶ月間の退職者数/(12ヶ月前の月末在籍人数+過去12ヶ月間の採用者数))

# 2025年10月期 第1四半期 決算概要

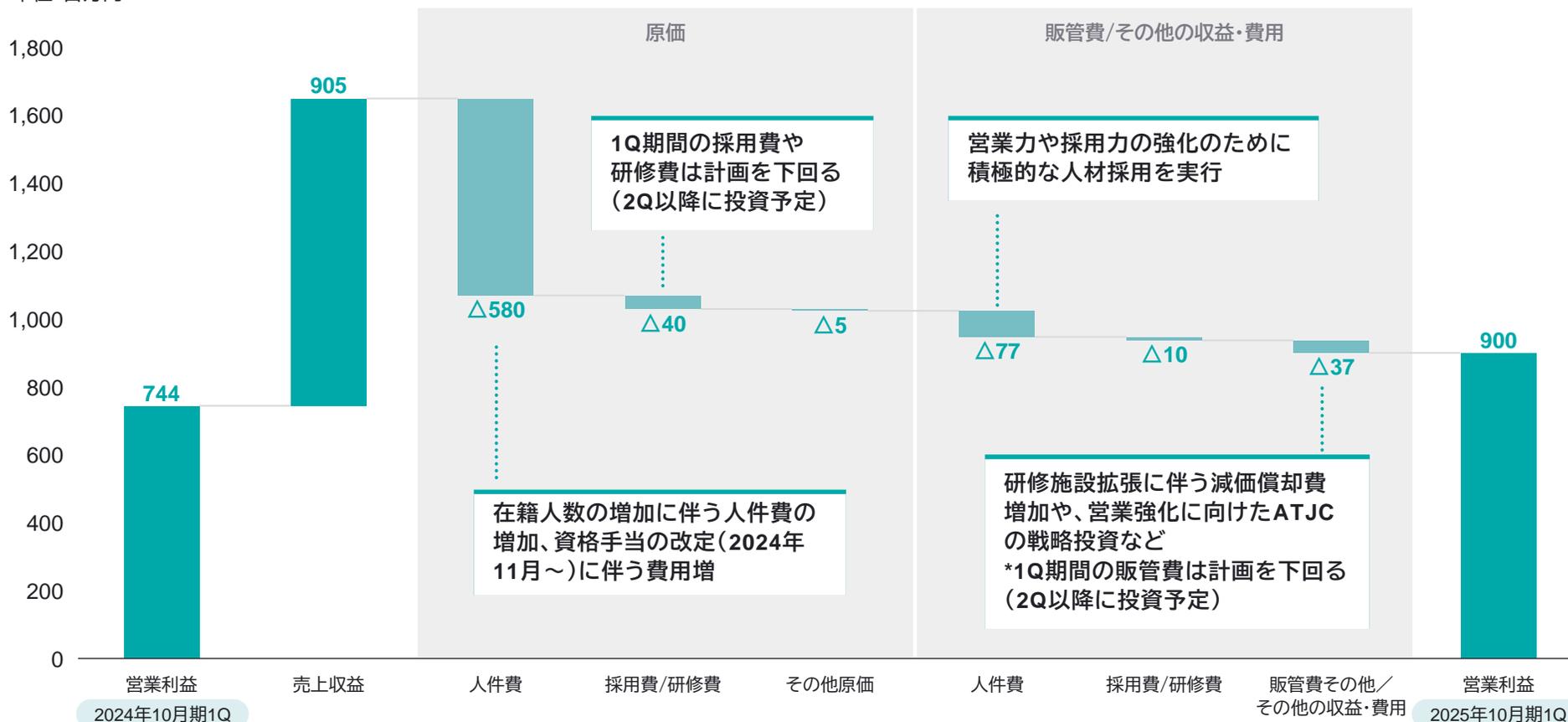
- ・ 建設・ITともに技術者の稼働人数及び契約単価の向上が寄与し、売上収益は前年同期比**+18.2%**の増収
- ・ 営業利益は、営業力や採用力の強化に向けて人件費が増加したものの、増収効果が大きく同**+20.9%**の増益
- ・ 対計画では、売上収益が計画水準となった一方、営業利益は一部経費の期ずれも影響し大きく超過**(+34.4%)**

	第1四半期(3ヶ月)				1Q業績予想		通期業績予想	
	2024年 10月期 1Q実績	2025年 10月期 1Q実績	前年同期比		2025年 10月期 1Q計画	達成率	2025年 10月期 通期計画	進捗率
単位:百万円								
売上収益	4,987	5,892	+905	+18.2%	5,850	+0.7%	25,650	23.0%
売上総利益	1,410	1,688	+278	+19.7%	1,540	+9.6%	6,860	24.6%
売上総利益率	28.3%	28.7%	+0.4pt		26.3%	+2.4pt	26.7%	—
営業利益	744	900	+155	+20.9%	670	+34.4%	3,310	27.2%
営業利益率	14.9%	15.3%	+0.4pt		11.5%	+3.8pt	12.9%	—
税引前四半期(当期)利益	732	883	+151	+20.6%	660	+33.9%	3,220	27.4%
親会社所有者帰属 四半期(当期)利益	516	649	+133	+25.9%	480	+35.4%	2,330	27.9%

- 旺盛な建設人材需要を背景に、技術者の稼働人数及び契約単価が向上(売上収益+905百万円)
- 1Q期間の技術者の採用費や研修費、ATJCの営業強化に向けた投資は計画を下回る(2Q以降に投資予定)
- 以上の結果、営業利益は+156百万円の増益

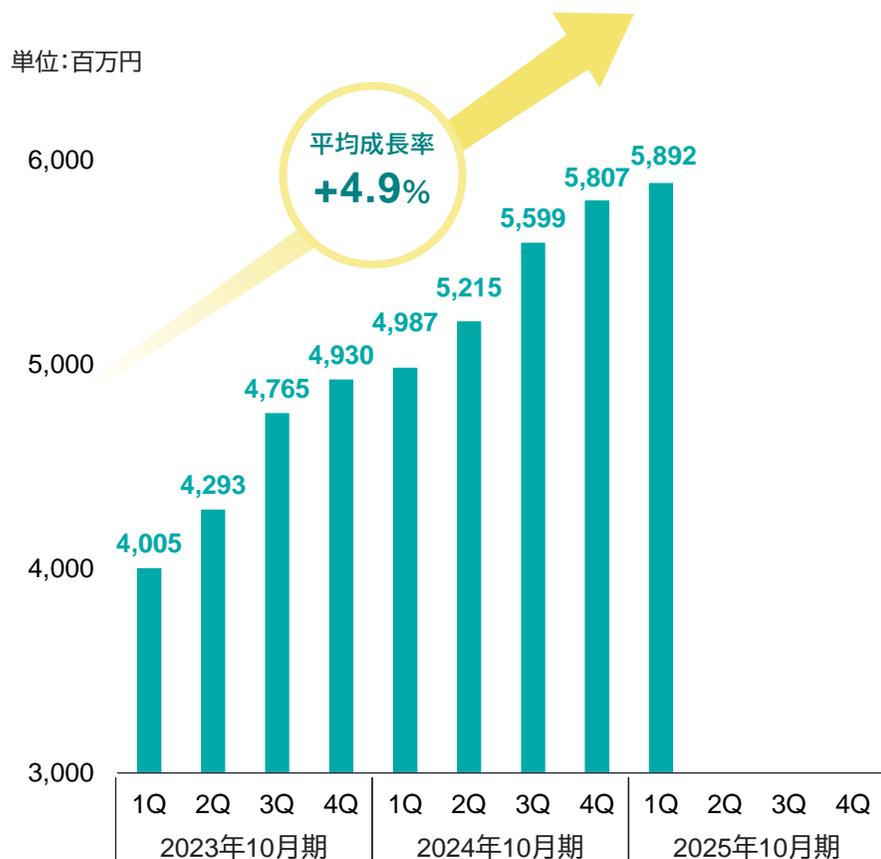
### 営業利益の差異

単位:百万円

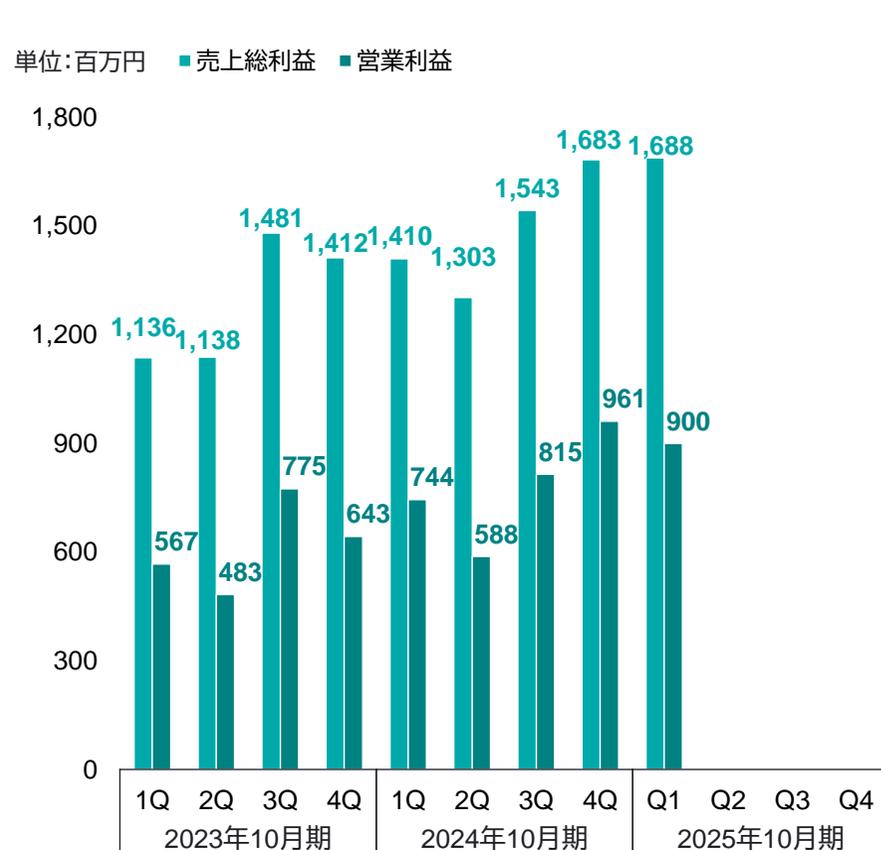


- 四半期の売上収益は、稼働人数の増加を背景に着実に成長し、過去最高を更新
- 直近9四半期における四半期売上収益の平均成長率 **+4.9%**（23/10期1Q～25/10期1Q）
- 成長投資の期ずれが発生したことにより、四半期の営業利益は高い水準で着地

四半期売上収益



四半期売上総利益・営業利益



- 建設ソリューションは、計画した採用人数を確保できなかったことから在籍人数は計画をやや下回ったものの、単価交渉を含めた営業活動や技術者のキャリア支援の施策が奏功し、稼働人数は計画水準で推移
- ITソリューションは退職率の低減に課題を残すものの、技術者の在籍人数と稼働人数は計画水準で推移
- 以上の結果、建設・ITソリューション事業ともに増収・増益を確保

	第1四半期(24年11月～25年1月)			
	単位:百万円	2024年10月期 実績	2025年10月期 実績	前年同期比
建設ソリューション		4,439	5,273	+834 +18.8%
ITソリューション		547	618	+71 +13.0%
売上収益合計 <sup>*1</sup>		4,987	5,892	+905 +18.2%
建設ソリューション		617	746	+128 +20.8%
利益率		13.9%	14.2%	+0.3pt —
ITソリューション		37	41	+3 +9.1%
利益率		6.9%	6.7%	△0.2pt —
調整額 <sup>*2</sup>		88	112	+23 +26.9%
営業利益合計		744	900	+155 +20.9%

(<sup>\*1</sup>) 内部取引消去後

(<sup>\*2</sup>) 調整額は、セグメント間取引消去や株式会社ナレルグループに対する経営指導料など

- 前期の期末配当を当四半期に実施したため、現金及び現金同等物は前期末比で減少
- 同様の理由により、利益剰余金の増加は+77百万円に留まる。のれん比率はわずかに改善

単位:百万円	2024年10月期 (24年10月末)	2025年10月期1Q (25年1月末)
現金及び現金同等物	4,516	4,038
営業債権	3,204	3,166
その他の流動資産等	205	277
流動資産合計	7,926	7,482
有形固定資産	178	209
使用権資産	597	533
のれん	14,074	14,074
繰延税金資産	508	516
その他の非流動資産等	332	239
非流動資産合計	15,690	15,574
資産合計	23,617	23,056

親会社所有者帰属持分比率	56.9%	58.7%
純有利子負債 <sup>*1</sup>	1,054	1,354
のれん比率 <sup>*2</sup>	1.05倍	1.04倍

(\*1) 借入金(流動)+長期借入金-現金及び現金同等物

(\*2) のれん/資本合計

単位:百万円	2023年10月期 (24年10月末)	2025年10月期1Q (25年1月末)
借入金(流動)	2,714	2,714
リース負債(流動)	227	223
その他の流動負債等	3,574	3,145
流動負債合計	6,516	6,083
長期借入金	2,857	2,678
リース負債(非流動)	348	291
その他の非流動負債等	453	477
非流動負債合計	3,659	3,447
負債合計	10,176	9,531
資本金・資本剰余金等	9,008	9,016
利益剰余金	4,431	4,508
資本合計	13,440	13,525
負債及び資本合計	23,617	23,056

- ・ 四半期利益の増加により、営業活動によるキャッシュフローは**+1.5億円**の収入
- ・ 前期の期末配当(1月支払)などにより、財務活動によるキャッシュフローは**△7.2億円**

	2024年10月期 1Q	2025年10月期 1Q
税引前利益	732	883
減価償却費	65	73
営業債権の増(-)減(+)	61	44
未払費用の増(+)-減(-)	△78	△20
利息支払	△11	△16
法人所得税等	△492	△454
その他	△346	△360
<b>営業活動によるCF</b>	<b>△70</b>	<b>148</b>
有形固定資産の取得による支出	△3	△34
その他の金融資産の取得(-)回収(+)	△0	0
その他	△5	0
<b>投資活動によるCF</b>	<b>△9</b>	<b>△34</b>
<b>フリー・キャッシュ・フロー</b>	<b>△79</b>	<b>114</b>
長期借入金の返済による支出	△178	△178
リース負債の返済による支出	△55	△60
株式の発行による収入	97	18
配当金の支払額	△767	△499
その他	1	△0
<b>財務活動によるCF</b>	<b>△903</b>	<b>△720</b>
<b>現金及び現金同等物増減額</b>	<b>△982</b>	<b>△606</b>

使用権資産償却含む(IFRS)

研修施設の拡張に伴う  
有形固定資産の取得

オフィス賃借料など(IFRS)

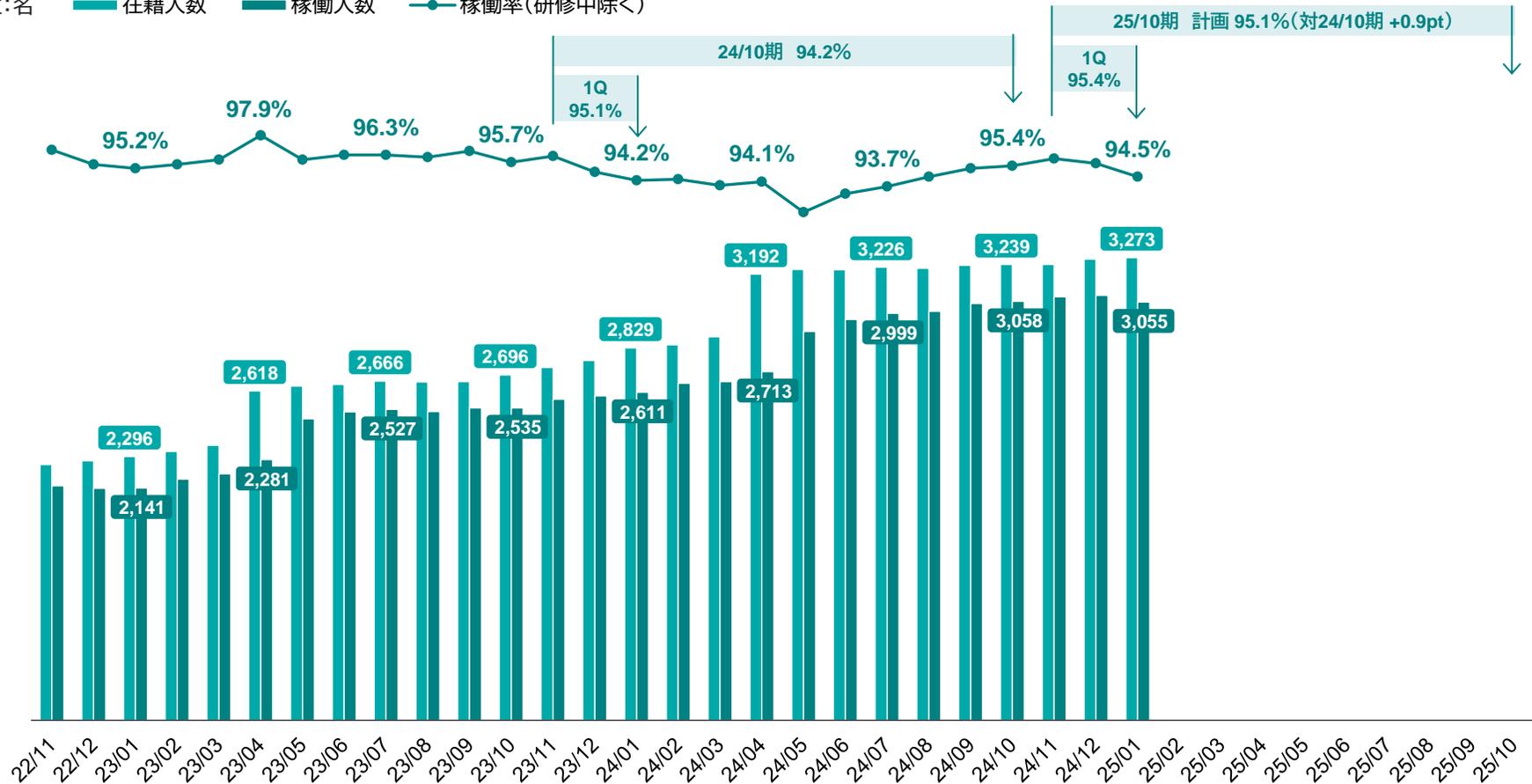
前期の期末配当

# 2025年10月期 第1四半期 主要KPIの推移

- 技術者のキャリア支援の施策が奏功し、稼働人数は概ね計画水準で推移
- 25年1月の在籍人数は**3,273名(対24年1月+444名)**、1Qの平均稼働人数は**3,074名(対24/10期1Q+480名)**
- 稼働率は、地方で課題を残すものの、全体では改善傾向が続く(24年10月期1Q比で**+0.3pt**改善)

## 在籍人数・稼働人数・稼働率の推移

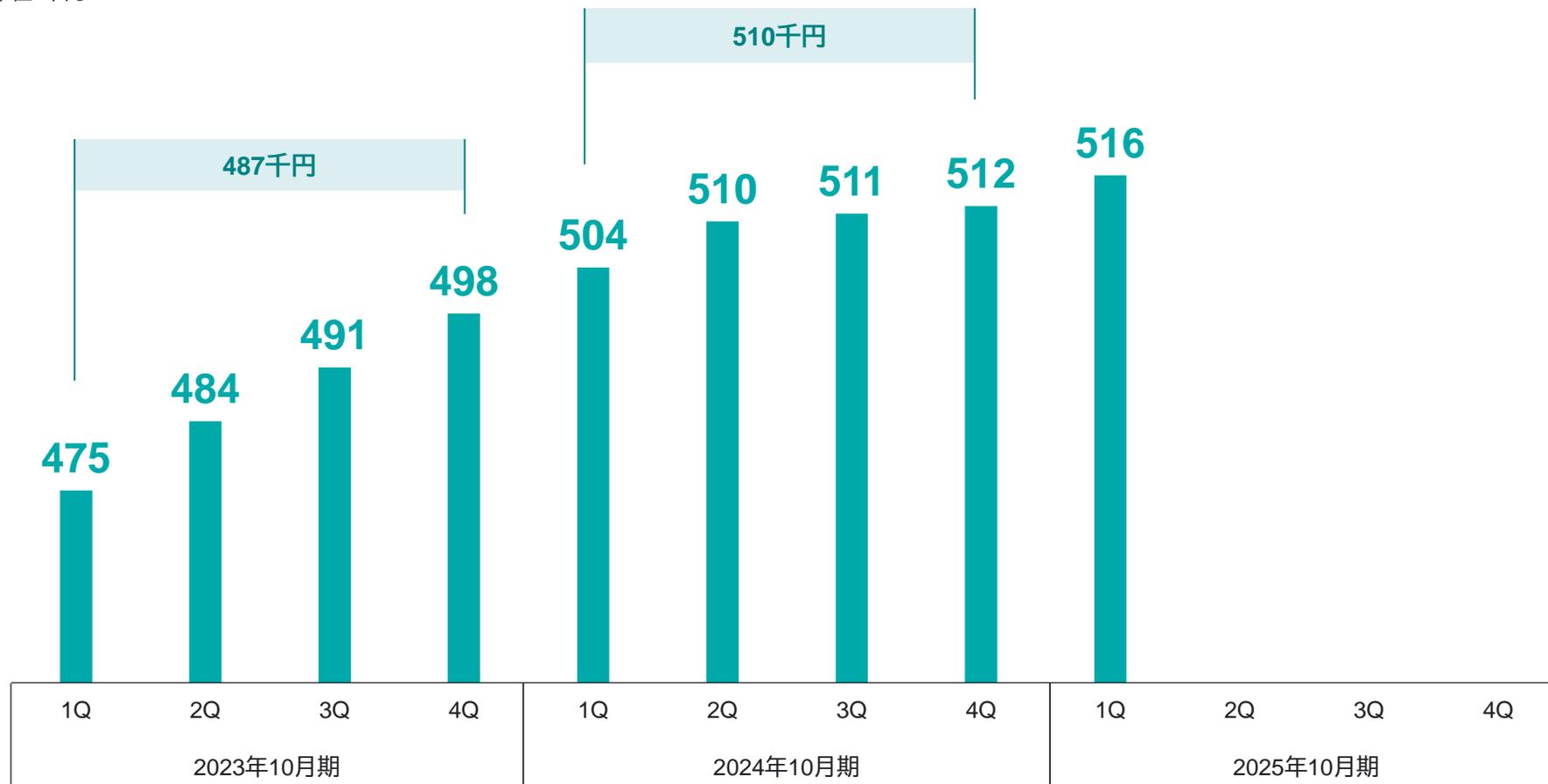
単位:名 ■ 在籍人数 ■ 稼働人数 ● 稼働率(研修中除く)



- 契約単価の交渉継続により、1Qの契約単価は**516千円**となり、前年同期から**+12千円**増加

## 契約単価の推移

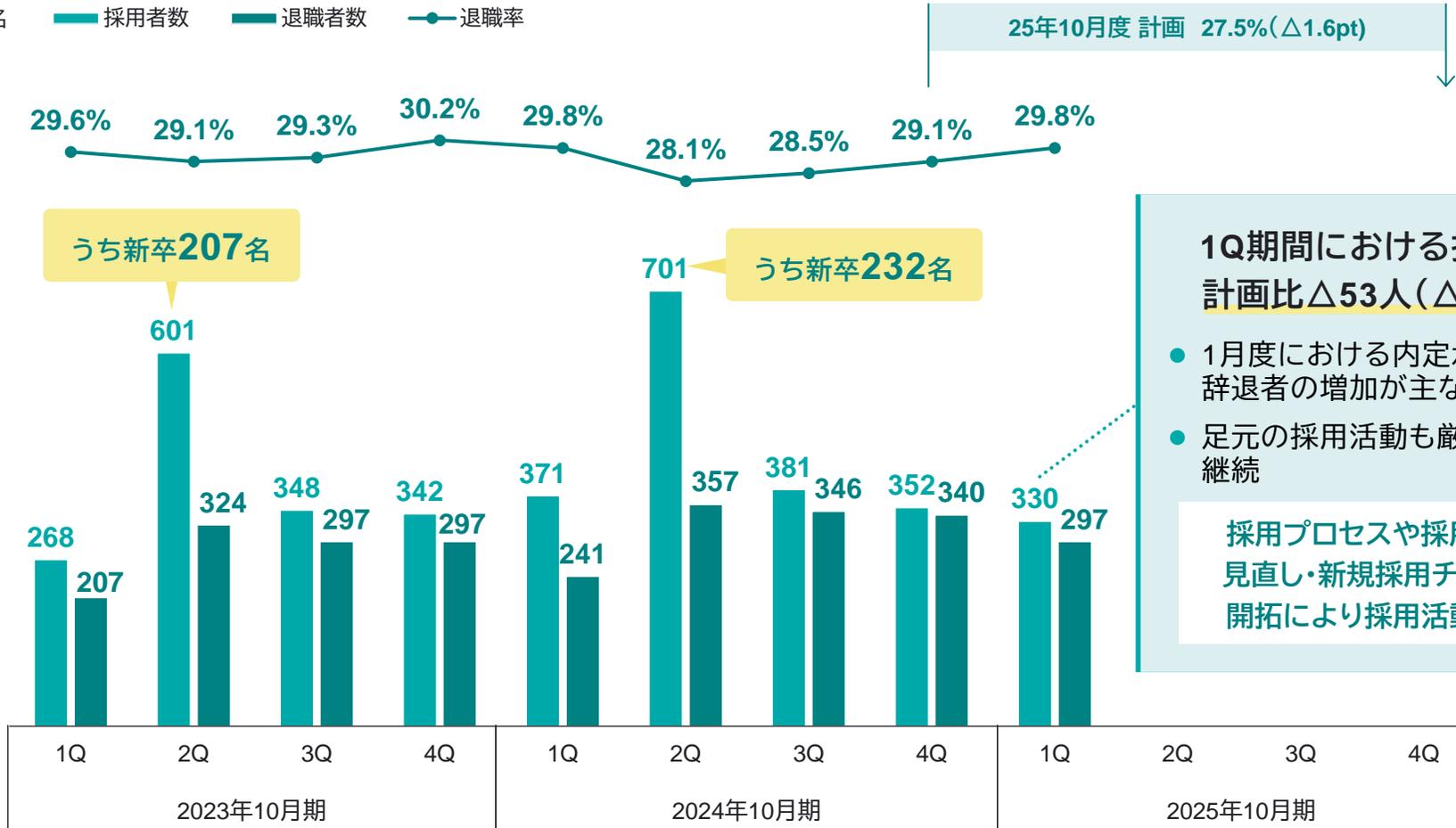
単位:千円



- 採用苦戦により計画した人数を確保できず、25/10期1Qの採用人数は**330名**(前年同期比△41名)に留まる
- 25/10期1Qの退職人数は計画を下回る(退職率\*1は、計画水準の**29.8%**で着地)

## 四半期別推移

単位:名    ■ 採用者数    ■ 退職者数    ● 退職率



1Q期間における採用人数  
計画比△53人(△13.8%)

- 1月度における内定承諾後の  
辞退者の増加が主な原因
- 足元の採用活動も厳しい状況が  
継続

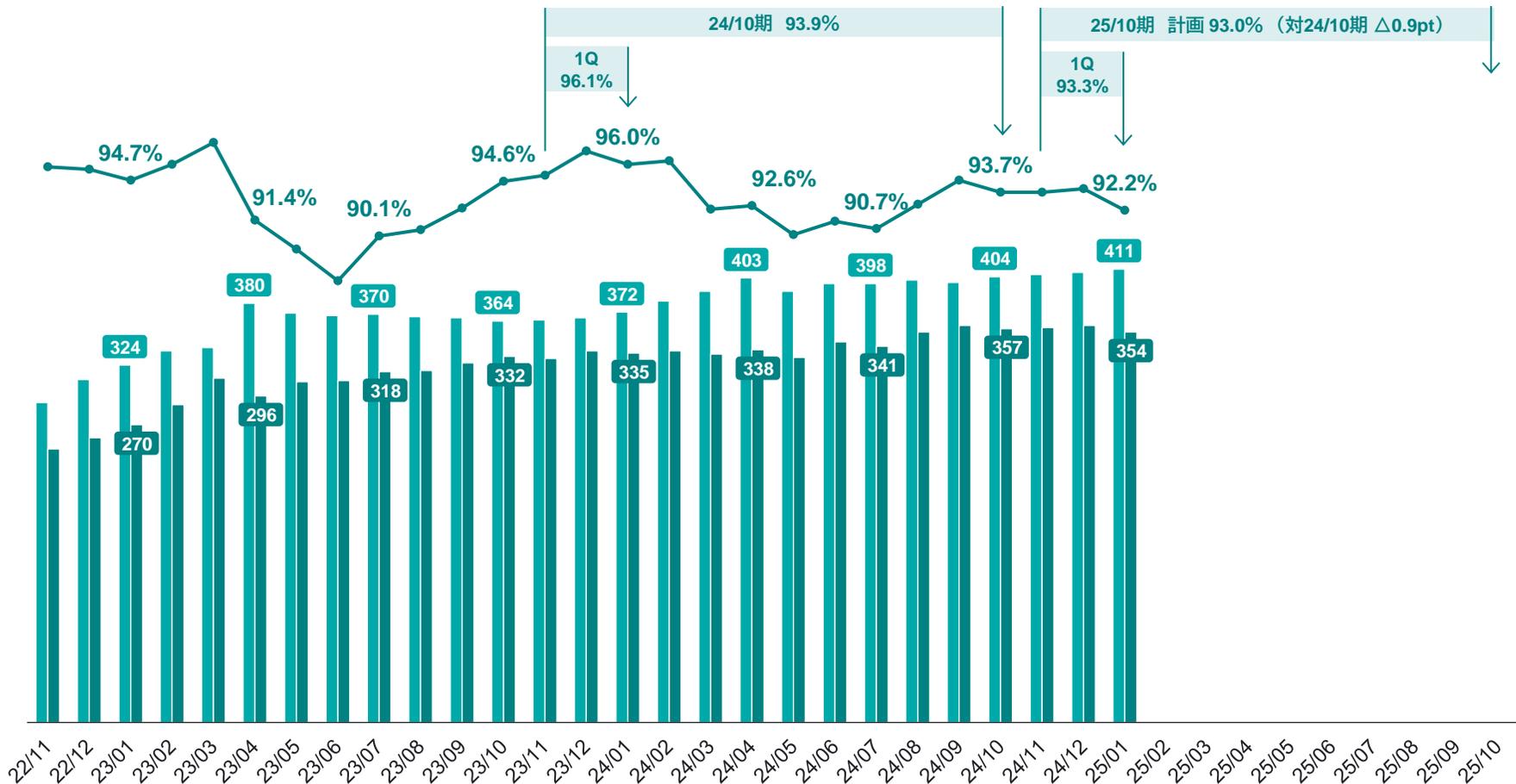
採用プロセスや採用基準の  
見直し・新規採用チャネルの  
開拓により採用活動を強化

(\*1) 退職率=過去12ヶ月間の退職者数/(12ヶ月前の月末在籍人数+過去12ヶ月間の採用者数)

- 技術者の在籍人数と稼働人数は計画水準で推移
- 25年1月の在籍人数は**411名(対24年1月+39名)**、1Qの平均稼働人数は**357名(対24/10期1Q + 23名)**

## 在籍人数・稼働人数・稼働率の推移

単位:名 ■ 在籍人数 ■ 稼働人数 ● 稼働率(研修中除く)



- 1Qの契約単価は**517千円**となり、前年同期から**+14千円**増加

## 契約単価の推移

単位:千円



- 25/10期1Qの採用人数は**46名**(前年同期**+7名**)となり、計画水準で推移
- 一時的な退職者の増加もあり計画した退職率\*1の低減には至らず(退職率\*1は、前年同期から**△0.4pt**改善)

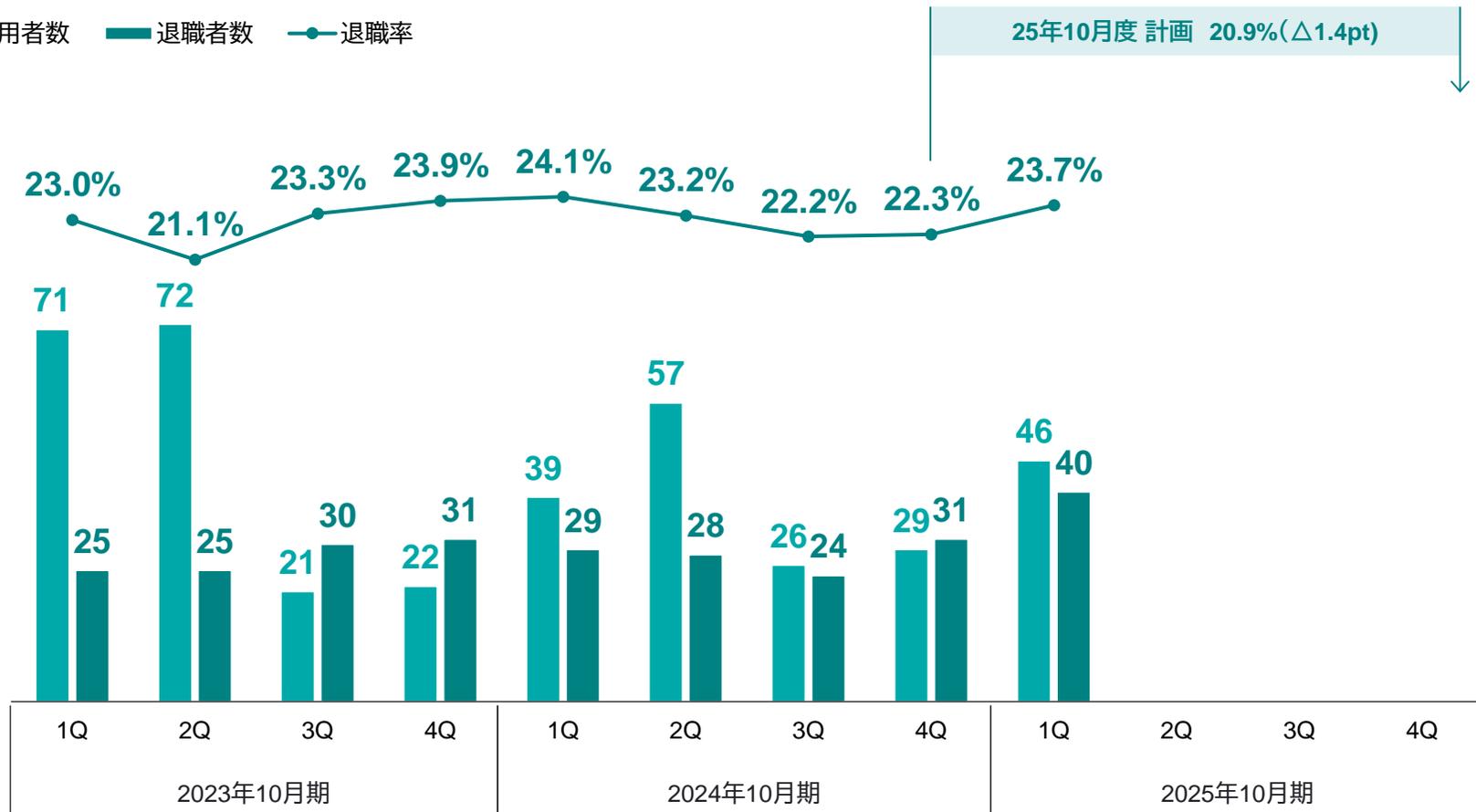
## 四半期別推移

単位:名

採用者数

退職者数

退職率



(\*1) 退職率=過去12ヶ月間の退職者数/(12ヶ月前の月末在籍人数+過去12ヶ月間の採用者数)

# 2025年10月期

## 事業計画・業績予想（再掲）

\* 2024年12月13日開示「2025年10月期 経営方針説明資料」より抜粋

## 2025年10月期の経営方針

技術者の育成支援と退職率の低減に向けた取り組みを推進しつつ、更なる成長を実現するために自社採用メディアや新サービスなどに投資。同時に、経営課題の克服に向けて中期経営計画を策定する

## 重点取り組み事項

- 1 「営業」「採用」「キャリアデザイン」各プロセスの機能強化
- 2 自社採用メディア(セコカンNEXT)の育成強化
- 3 建設DX支援など新規サービスの展開を加速
- 4 中期経営計画の策定

# 1 「営業」「採用」「キャリアデザイン」各プロセスの機能強化

各プロセスの機能強化を通じて、稼働率の改善と退職率の低下を目指す

## 建設ソリューション事業

### 営業

- **キャリア技術者、女性・未経験人材の派遣先の安定確保に向けた営業強化**
- 地方エリア(中部・関西など)の売上拡大に向けて営業体制を整備
- BIM<sup>\*1</sup>領域の深耕、プラント領域の拡大

### 採用

- **自社採用メディアやDR<sup>\*2</sup>強化を通じた採用数拡大と採用単価の抑制**
- 採用プロセスの改善を通じた採用数の拡大(26新卒、中途未経験者、経験者)
- 各種施策を実現するための社内体制構築と営業部門との連携強化

### キャリアデザイン

- **退職率低減に向けた営業、キャリアデザイン、採用の協業体制の構築**
- 技術者のキャリアデザイン支援に向けてプログラムやアドバイザーを拡充
- 未経験技術者の業務上での課題やキャリア相談ができる環境整備の推進

## ITソリューション事業

### 営業 採用

- 営業強化による上流工程案件の獲得
- 各種施策を通じた採用力の強化と採用単価の抑制

(\*1) BIM(Building Information Modeling) :建築分野においてコンピューター上で作成する3Dデジタルモデルにより、建設過程における設計から施行、維持管理までを可能にするツール

(\*2) DR:ダイレクトリクルーティング



3

## 建設DX支援など新規サービスの展開を加速

2024年10月期の取り組みをベースに、建設DX支援サービスの展開を加速。建設ICTツール導入のコンサルティングを実施するコンサルタントや支援員を養成し、複数人の編成によるチーム派遣を提供

### 建設DXコンサルのチーム体制

建設DX支援部隊が現場の効率化をサポート



DXに関する現状把握	企画・提案	サービス導入 人材配置	アフターサポート
<ul style="list-style-type: none"> <li>全社で稼働している企業・現場ハピアリング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンサルティング</li> <li>ソリューションサービスの検討</li> <li>人材配属</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービスリリース</li> <li>人材配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>配属後の支援</li> </ul>

### 2024年10月期の実績

- 建築・設備分野において、DX支援のチーム派遣を実施

#### 建設会社A社:

チームとしてDX人材を派遣し、業務効率化と生産性向上の実現

#### 設備会社B社:

設備工事の工程内検査(インサート、ダクト配管等)の検査チームを構築

- DX支援のチーム派遣の実績を元にオンラインセミナーを開催し、取り組みをPR



## 4

## 中期経営計画の策定

当社グループのありたい姿と環境分析を踏まえ、経営基盤の強化をはじめ、事業・人的資本・財務/投資について議論し、中期経営計画を策定していく方針(2025年10月期中の開示を予定)

## 中期経営計画の策定における議論テーマ(案)

## 事業

強化市場/開拓市場

新規サービス/  
新規事業

業務改革

## 人的資本

技術者の  
リテンション/成長支援内勤社員の  
エンゲージメント

組織開発

## 財務/投資

株主還元を含む  
キャピタルアロケーション

M&amp;A/事業投資

事業ポートフォリオ

## 経営基盤の強化

コーポレートガバナンス

サステナビリティ

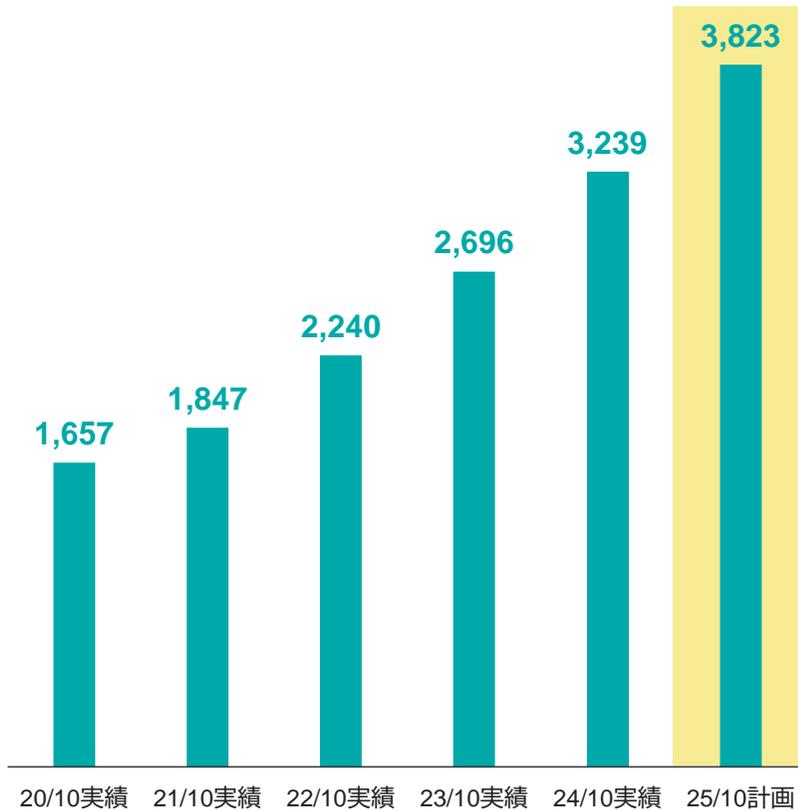
- 当期は自社採用メディア強化、技術者の育成支援、営業・採用部門の体制強化など成長投資を優先
- 上期については、投資が先行することから、営業利益以下の段階利益については減益を見込む
- 通期の売上収益は、在籍人数の増加と稼働率の改善の取り組みにより、前期比+18.7%を計画
- 下期以降の利益改善が寄与することから、通期の営業利益は前期比+6.4%で計画

単位:百万円	上期			通期				
	2024年 10月期 実績	2025年 10月期 計画	前年同期比		2024年 10月期 実績	2025年 10月期 計画	前期比	
売上収益	10,202	11,980	+1,777	+17.4%	21,608	25,650	+4,041	+18.7%
売上総利益	2,713	2,990	+276	+10.2%	5,940	6,860	+919	+15.5%
売上総利益率	26.6%	25.0%	△1.6pt		27.5%	26.7%	△0.8pt	
営業利益	1,333	1,230	△103	△7.8%	3,110	3,310	+199	+6.4%
営業利益率	13.1%	10.3%	△2.8pt		14.4%	12.9%	△1.5pt	
税引前当期利益	1,310	1,200	△110	△8.4%	3,059	3,220	+160	+5.2%
親会社所有者帰属 当期利益	923	870	△53	△5.8%	2,187	2,330	+142	+6.5%
基本的1株当たり当期利益	108.68円	99.75円	△8.93円	△8.2%	255.16円	267.15円	+11.99円	+4.7%

- 顧客需要に応えるため、各種施策を通じて、技術者人材の安定的な確保と退職率の低下に取り組む
- 新規採用数は約**2,000**人、退職率は**27.5%**水準を目指す

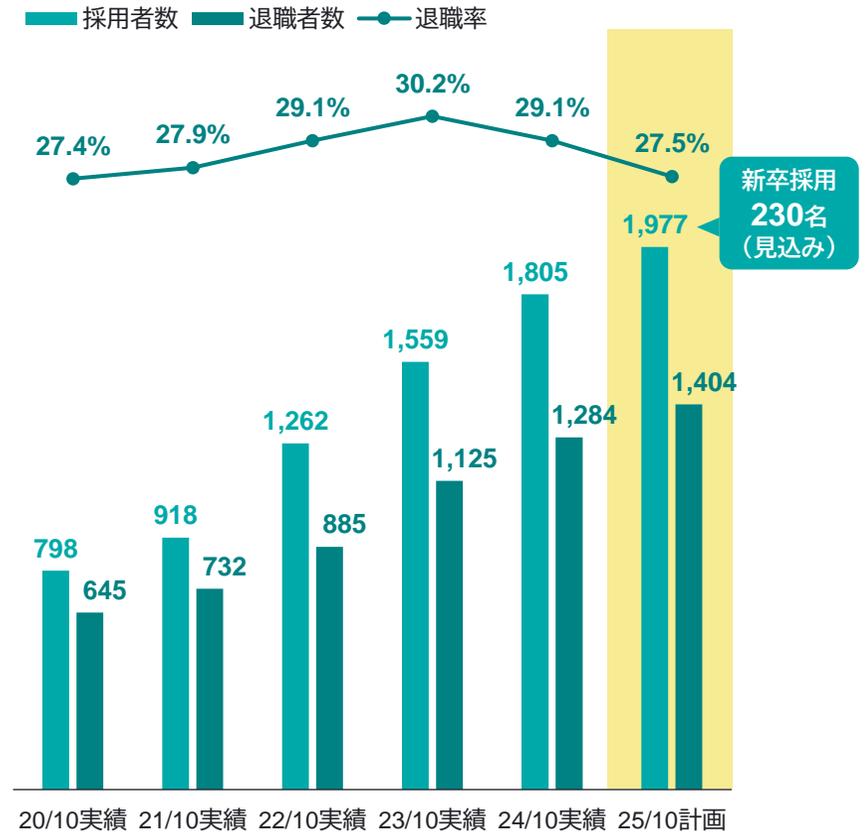
在籍人数の計画

単位:名



採用者数・退職者数・退職率の計画

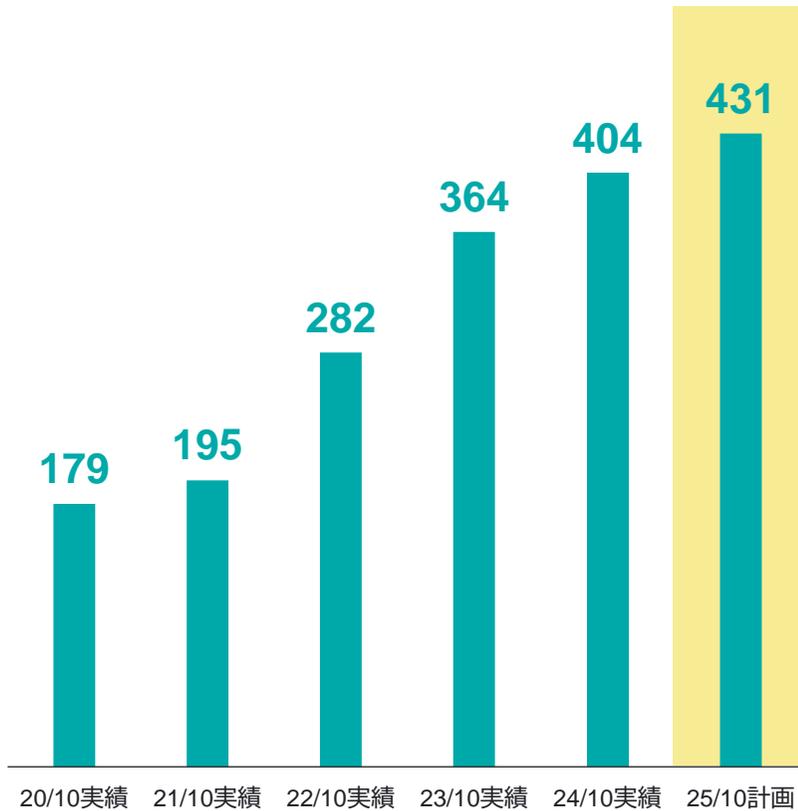
単位:名



- 引き続き、研修内容の充実とシステム開発における上流工程案件の受注獲得に向けた営業を強化
- 新規採用数は約**160人**、退職率は**20.9%**水準を計画

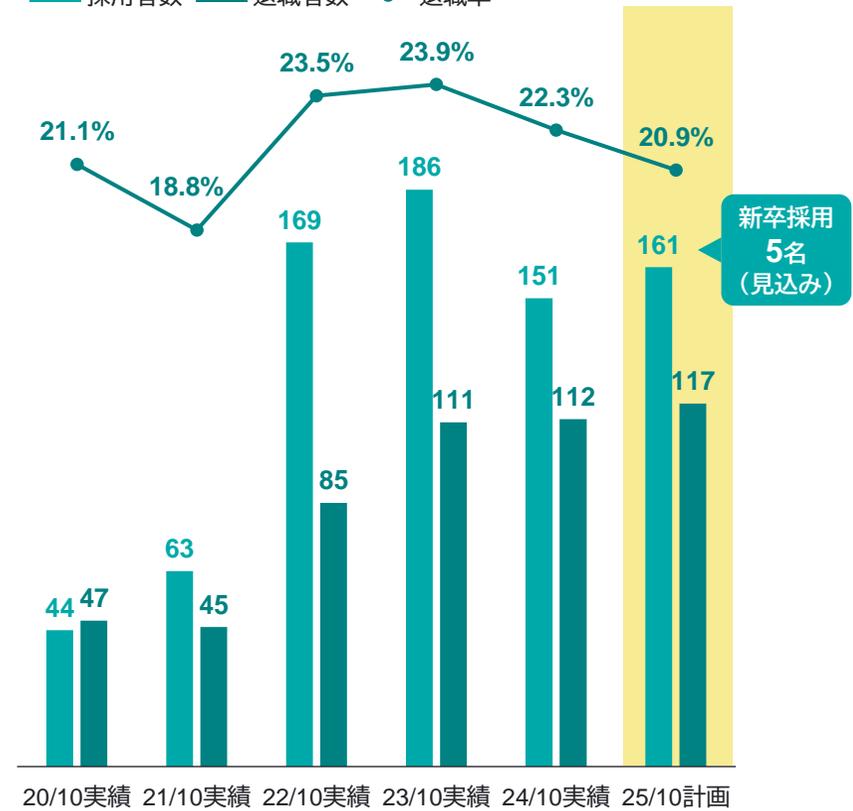
在籍人数の計画

単位:名

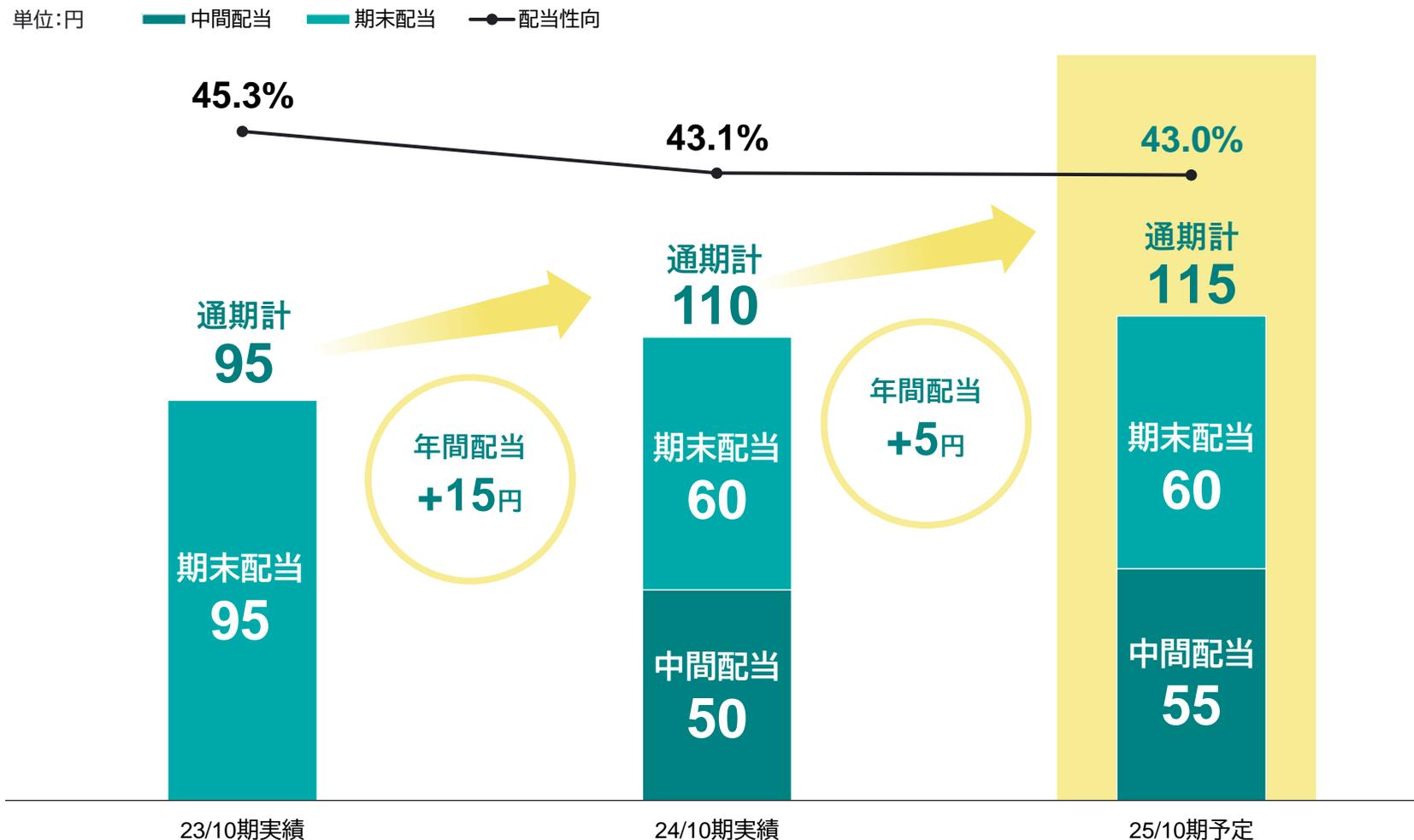


採用者数・退職者数・退職率の計画

単位:名 採用者数 退職者数 退職率



- 2025年10月期の年間配当は中間配当**55円**、期末配当**60円**の計**115円**を予定(前期比**+5円**)
- 基本的1株当たり当期利益(業績計画ベース)に対する配当性向は**43.0%**



本資料は、関連情報の開示のみを目的として株式会社ナレルグループ(以下「当社」といいます。)が作成したものであり、米国、日本国又はそれ以外の一切の法域における有価証券の買付け又は売付け申し込みの勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載されている当社以外の企業等に関する情報及び第三者の作成に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、そのデータ・指標等の正確性・適切性等について、当社は独自の検証は行っておらず、何ら保証するものではありません。

将来の業績に関して本資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」又は「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。

